



「KONICA MINOLTA エコ & アート アワード 2012」作品展 環境をテーマにしたアート作品コンペのグランプリと各賞を決定

2012年3月27日

コニカミノルタが運営するギャラリースペース、コニカミノルタプラザ(東京都・新宿区)は昨年、“環境と芸術を融合させたアイデア・デザイン”をテーマに「KONICA MINOLTA エコ&アート アワード 2012」の作品募集を行い、若手アーティスト(16歳～35歳)の方から多数のご応募をいただきました。4人の審査員によって厳選された39作品は、2012年3月4日から22日まで、コニカミノルタプラザにて展示されました。

去る3月20日には、同ギャラリーにて作品の審査会が行われ『ビジュアルアーツ部門』*1『プロダクト&コミュニケーション部門』*2『next ACTION部門』*3よりグランプリと各賞を決定いたしましたので、その結果をお知らせいたします。

【グランプリ】

ビジュアルアーツ部門	WE are the JAPAN (古川真直)
プロダクト&コミュニケーション部門	玉響-たまゆら-*4 (NOTE(青木大輔/樋口太郎))
next ACTION 部門	RIP lamp*5 (株式会社FREEing (竹澤葵))



審査員講評:WE are the JAPAN (古川真直)

日本人にとって自分の証の一つである印鑑を通して、人とのつながりを見つめ直し、地域特性を学ぶことのできるユニークなアート作品です。人々が決めた土地に根を張り、地域の自然環境と共生しながら深い繋がりの中で存在していることを、ビジュアルで分かりやすく表現している点が大変魅力的だと思います。同時に、社会のあり方を問いかけている様子にも感じられます。



審査員講評:玉響-たまゆら- (NOTE (青木大輔/樋口太郎))

スタイリッシュでありながらソフトな印象のビニール製のイス。 “ペットボトル型のパッケージから、折りたたんだビニールを出し、クエン酸と炭酸ナトリウムを固めたキャンディと水を入れ、シェイクすることでプロダクトとして即座に使用でき、狭い避難場所や、被災地でも有効活用が可能”というプレゼンにも説得力がありました。当初、『next ACTION部門』での作品エントリーでしたが、そのプロダクトとしての圧倒的な完成度の高さは、野外のイベントにおいても活躍する現代アート作品のようでもあり、『プロダクト&コミュニケーション部門』のグランプリに相応しいと考えました。



審査員講評:RIP lamp (株式会社FREEing (竹澤葵))

使用済みで、電圧の低くなった乾電池を最後まで使い切る「乾電池の最後を看取るための装置」です。このライトは単1から単4までの乾電池サイズに対応しており、デザイン的、構造的、経済的にも優れています。震災時、計画停電が行われ、乾電池が不足した事例もあり、家庭で溜まりやすい使用済みの古乾電池を有効活用するためのライトは“エコ”と“3. 11後の未来”をつなぐ、ありそうでなかった製品です。その着眼点が評価され、『next ACTION 部門』でのグランプリとなりました。

コニカミノルタプラザでは、コミュニケーションメッセージである”Giving shape to ideas”「革新はあなたのために。」のもと、社会、文化、芸術への貢献を目的としたさまざまな展覧会やイベントを開催してまいります。

【各受賞結果】

ビジュアルアーツ部門	プロダクト&コミュニケーション部門	next ACTION 部門
◆グランプリ		
WE are the JAPAN (古川真直)	玉響-たまゆら- (NOTE(青木大輔/樋口太郎))	RIP lamp (株式会社 FREEing 竹澤葵)
◆準グランプリ		
air plant (佐藤みのり)	eneMAL (松田優)	Denki no tobira (進藤篤)
◆オーディエンス賞		
リサイクル・アニマル (安藤はるか)	Happy Rebirthday! (SMARAG 吉岡佑二/浜崎美保)	再ノ生(中川真知子)
◆審査員特別賞		
安藤貴之審査員特別賞:雪どけ(櫻庭芽生夢)		
廣田尚子審査員特別賞:おかえり(屋木はるか)		
ミヤケマイ審査員特別賞:引越しと定住を繰り返す生活(仮)(村上慧)		
伊勢谷友介審査員特別賞:「海」(原麻奈美)		
◆協賛社特別賞		
J-WAVE 賞:RIP lamp(株式会社 FREEing 竹澤葵)		
IDÉE 賞:Happy Rebirthday!(SMARAG 吉岡佑二/浜崎美保)		

【KONICA MINOLTA エコ & アート アワード 2012】作品展の概要

部門	『ビジュアルアーツ部門』 『プロダクト&コミュニケーション部門』 『next ACTION 部門』
賞 金	1.グランプリ:30万円(各部門1本) 2.準グランプリ:10万円(各部門1本) 3.オーディエンス賞*:3万円+Pen年間購読権(各部門1本) *展示期間中に来場者の投票によって選ばれる賞です 4.審査員特別賞:3万円(4本) 5.協賛社特別賞(IDÉE賞&J-WAVE賞) ・IDÉE賞:IDÉE SHOP(東京ミッドタウン店)または Délier IDÉE(新丸ビル)でのアートワークの発表 ・J-WAVE賞:J-WAVEオリジナルグッズ(2012年4月以降制作予定)のデザインワーク *協賛社特別賞は、実際に展示を行った入選者の中から各協賛社が独自に選考します。 *協賛社特別賞は、他の賞と重複する可能性もございます。 IDÉE オフィシャルサイト URL: http://www.ideo.co.jp/ J-WAVE オフィシャルサイト URL: http://www.j-wave.co.jp/
審査員	※敬称略、順不同 安藤貴之(Pen編集長) 伊勢谷友介(REBIRTH PROJECT代表) 廣田尚子(プロダクトデザイナー/女子美術大学教授) ミヤケマイ(美術家)
応募資格	アートの視点で環境活動(エコ)を促進するための芸術作品、製品デザイン、グラフィックデザインなどを制作する16歳から35歳までのアーティスト、クリエイター。プロ・アマチュア不問
Webサイト	http://www.konicaminolta.jp/plaza/schedule/2012march/ecoart/index.html

*1 エコロジーに対して提言するファインアートの意識に基づいた作品
(絵画、グラフィックアート、インスタレーション、立体アート、CG、映像、絵本、等ビジュアルを中心にした作品を対象。)

*2 プロダクト化の意識に基づき考えられた工芸、デザイン、もしくはコンセプト・アイデア
(自動車、飛行機、家電製品、オフィス用品、産業用、医療用、公共用機器等の工業製品から、家具や、食器等の日用品、服飾デザインまで、工業的に生産されるあらゆるデザイン、もしくはコンセプト、アイデアを対象。)

- *3 3.11 の事象を深く追求した作品、日本の復興や未来への扉をあけるアイデア
- *4 next ACTION 部門でのご応募でしたが、審査員の審議の結果、プロダクト&コミュニケーション部門としてのグランプリ受賞となりました。
- *5 プロダクト&コミュニケーション部門でのご応募でしたが、審査員の審議の結果 next ACTION 部門としてのグランプリ受賞となりました。

-----本件に関するお問合せ-----

報道関係： コニカミノルタホールディングス（株）広報グループ 03-6250-2100
お客様： コニカミノルタプラザ 03-3225-5001